

季節調整値の改定について

- 労働力調査のような月次統計の原数値には季節変動（1年を周期とした変動のパターン）が含まれます。そのため、足元の動き、すなわち前月からの変化を適切に捉えるためには、季節変動の影響を除く必要があります。そこで、完全失業率のほか、就業者数などの主な集計項目について、原数値から季節変動を取り除いた「季節調整値」を公表しています。
- 季節変動のパターンは、毎年少しずつ変化しています。そこで、直近の季節変動パターンを結果数値に的確に反映させるため、労働力調査では、毎年1月分結果の公表時に、過去の時系列データに前年12か月分の結果を追加して、過去に遡って計算し、過去10年分の数値を改定しています。

表 季節調整値の改定状況（完全失業率，2020年）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
改定前(%)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	2.9	2.9
改定後(%)	2.4	2.4	2.5	2.6	2.8	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0
差(ポイント)	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1

- ※ 改定後に遡及計算した結果は、改定前に公表した値とは必ずしも一致しない。
- なお、従前より、リーマンショック及び東日本大震災の発生後にそれぞれ生じた調査結果の変動を季節調整において適切に取り扱うため、外れ値を設定しています。これに加えて、2021年における季節調整値の改定に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大後に生じた調査結果の変動の季節調整における取扱いについて、学識経験者に意見を聴きつつ検証した結果、一部の系列において新たに外れ値を設定することとしました。
- また、2013年から月次結果の公表を開始した「正規の職員・従業員」及び「非正規の職員・従業員」については、月次結果が蓄積したことを踏まえ、2021年1月分結果から、「正規の職員・従業員」及び「非正規の職員・従業員」の男女計、男性及び女性の計6系列について、季節調整値の公表を開始しました。
- 季節調整値の改定の詳細については、「労働力調査の季節調整法におけるreg-ARIMAモデルの一部変更等について（2021年改定）」（下記URL）を御参照ください。
URL <<https://www.stat.go.jp/data/roudou/kisetsu/pdf/210302sa.pdf>>
- ※ 改定後の季節調整値は、「長期時系列データ」（下記URL）を御参照ください。
URL <<https://www.stat.go.jp/data/roudou/longtime/03roudou.html>>